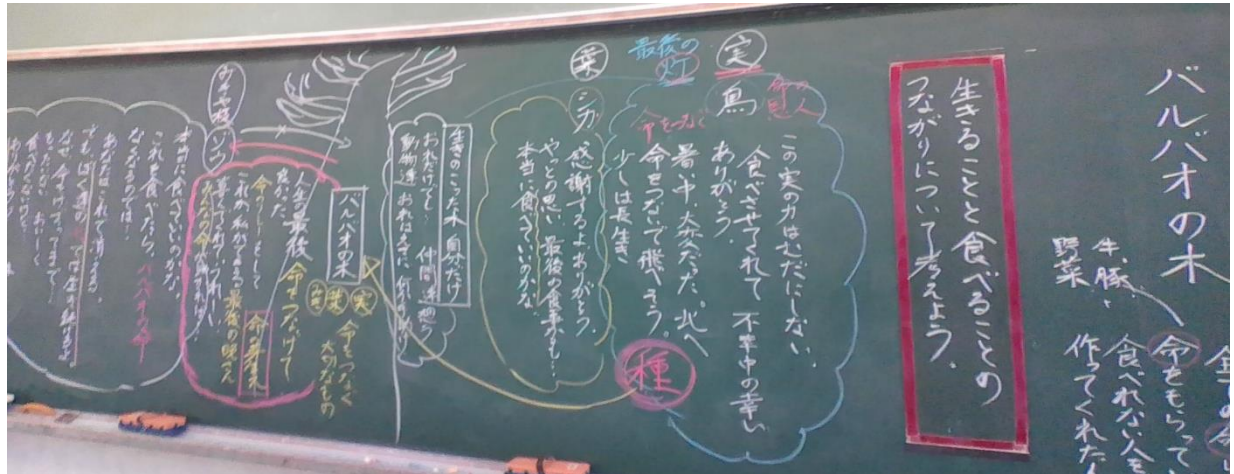


4年生 11月の様子

11月1週目

道徳科で命の授業「バルバオの木」を行いました。たくさんの動物たちを生かすために、自分の命を犠牲にしたバルバオの木。どんな想いで自分の命を与えたのか、みんなで考えていきました。



子供達の感想

- ・動物たちや人間たちの命は誰にでもつながっている。
- ・ぼくは今、生きているけれど、もしじいちゃんや母さんがいなかったら、僕は生まれていなかった……。そんな命のつながりについて考えた道徳だった。
- ・虫や植物にも命があるから、次から命があると思って大事にしたい。
- ・自分が生きている裏側で、命がなくなっていることをいつも考えないといけない。
- ・自分の命が新しい命につながり、また新しい命に繋いでいく。
- ・生き物が命をくれるのは、当たり前じゃない。好き嫌いをしない。野菜にも命があるから。

11月8日（金）

社会見学で「子ども文化科学館」と「筆の里工房」へ行きました。子ども文化科学館では、「星や月」で学んだことを関連付けながらプラネタリウムを見学しました。また、筆の里工房では、「地場産業を生かし、守る町」で事前学習した熊野筆について質問を交えながら、筆づくりへの想いを聞きました。

伝統工芸士の方が長年の経験と勘で筆を作っていてすごかった。



色々な筆で書けて、楽しいな。

